

テーマ：  
なぜあなたは不幸なのか

出典「日本の幸福度」

大竹文雄  
白石小百合  
筒井義郎

プレゼンター：片山 裕善

# 資料構成

- ① はじめに
- ② アンケート調査の概要
- ③～⑦ 変数と幸福度の関係
- ⑧ 変数と幸福度の関係(重回帰分析ver.)
- ⑨ 相対所得仮説について
  - ※人の幸福度は絶対的所得より相対的所得による
- ⑩ なんで一見して♂の方が不幸なの？
- ⑪ 選好パラメータと幸福度の関係
- ⑫ まとめ

# ①はじめに (資料p33～34:はじめに)

- ・利用する調査データは？  
⇒大阪大学COE(文科省協賛大学支援プログラム)  
による大規模アンケート調査結果
- ・本資料の特徴は？  
⇒選好パラメータと幸福度の関係を見てるとこ

なんで？

執筆者、阪大の方々が行動経済学の研究してる  
→自分の専門分野であり、単純にやりたかったら

## ②アンケート調査の概要 (資料p34～35)

- ・COEアンケート調査結果の規模：6000人  
jgssは年々大きく  
(2000年度：5000人)  
(2006年度：8000人)
- ・幸福度の被験者への尋ね方、その結果  
jgssは面接法＋留め置法

## ③～⑦節を前に

- ③基本属性(学歴・年齢・職業・性別)
- ④経済変数(所得・資産)
- ⑤選好や意見(ボランティア精神・競争志向)
- ⑥習慣と幸福度(宗教・たばこ・酒)
- ⑦住んでるところ(場所・規模)

# ③変数と幸福度の関係

## —基本属性—

性別・年齢・学歴・職業  
(資料p35～40)

### ●性別について。。。。

|   |       |        |          |
|---|-------|--------|----------|
| 男 | 1974人 | 平均6.27 | 標準偏差1.86 |
| 女 | 2186人 | 平均6.51 | 標準偏差1.88 |

☆平均値の差の検定結果は  
t値=4.12      p値=0.00004

この結果から、  
♂は優位に♀よりも不幸と分かる・・・なんでこうなる？

男女の社会的役割の違い  
(所得、学歴、職業の男女間の差)  
⇒幸福度に影響与えてるかも

# ③変数と幸福度の関係

## —基本属性—

性別・年齢・学歴・職業  
(資料p35～40)

### ●年齢について。。。。

p38の図：年齢別幸福度

・図から分かること  
⇒30歳代が他より5%水準で優位に幸せ者

※ノルウェーのHellevik[2003]の  
結果と整合的

但し、この二つの結果は  
「30歳代が最も不幸なU字型のグラフ」を描くという  
従来の研究報告は異なる。

# ③変数と幸福度の関係

## —基本属性—

性別・年齢・学歴・職業  
(資料p35～40)

### ●学歴について。。。

- ・最終学歴が高いほど幸せ(図はなし)
  - ・大学理系卒の人は文系卒より不幸
- ⇒なんで？

理由は8節gretl分析にて後述する。

補足:院卒はサンプル数が少ないので不明

# ③変数と幸福度の関係

## —基本属性—

性別・年齢・学歴・職業

(資料p35～40)

●職業について。。。

p39の表: 被験者の職業と人数

分かったこと

- ・ホワイトカラー(事務に従事、精神労働者)の幸福度が高い
- ・ブルーカラー(現場で仕事、肉体労働者)の幸福度が低い

## ④変数と幸福度の関係

### —経済変数—

所得・消費・資産

(資料p40~42)

・経済変数と幸福度の関係を調べる意義は？

⇒ 主観的な指標である幸福度に客観的な意義を与えられること

所得について。。。

P41右上の図：一人当たり所得と幸福度

●読み取れること⇒700万まではどんどん幸せに！

・・・が、それ以上儲けると不幸になる

また、「将来の所得の増加予想」と「幸福度」は

正の相関を持つ

## ④変数と幸福度の関係

### —経済変数—

所得・消費・資産

(資料p42～43)

・消費と幸福度の関係を調べる意義は？

⇒経済学では効用が消費量に依存すると  
仮定することが多いから。

### 消費について。。。。

●分かったこと⇒世帯あたり月45万まではどんどん幸せに！

・・・が、それ以上消費すると不幸になる

なお、一人当たりの消費額に幸福度は影響されない

⇒意外、というかなんで？

# ④変数と幸福度の関係

## —資産—

所得・消費・資産

(資料p43)

## 資産について。。。

### ●分かったこと

⇒家とか土地とか資産は

2000万まではどんどん幸せに！

・・・が、それ以上持つと不幸になる

⇒株式とか国債とか金融資産は

1億まではどんどん幸せに！

・・・が、それ以上持つと不幸になる

# ⑤変数と幸福度の関係

## －選好や意見－

競争志向・利他性・お金の考え方  
(資料p44～46)

### 競争志向について。。。

他人の生活を意識すればするほど不幸  
⇒相対所得仮説と関連

### 利他性について。。。

ボランティア精神旺盛＝幸せ者  
⇒しかしこの説には逆の因果の可能性もある

### お金の考え方について。。。

質素に暮らしたい人ほど不幸  
貯金を人生の目的とする人は不幸

## ⑥習慣と幸福度

### －習慣－

宗教・喫煙・酒・ギャンブル

(資料p46～48)

宗教について。。。。

宗教に入れ込んでる人の方が幸せ

喫煙について。。。。

喫煙と幸福度の因果関係は不明確・・・

⇒ 不幸だから喫煙 or 喫煙するから不幸

もしくは他の別の原因が喫煙行動と

幸福度両変数の低下をもたらしてるのかも

## ⑥習慣と幸福度

### －習慣－

宗教・喫煙・酒・ギャンブル

(資料p46～48)

酒について。。。

飲酒と幸福度の相関は不明確

⇒意外

ギャンブルについて。。。

ギャンブルの頻度が多い人ほど不幸

⇒ギャンブルやる人が貧乏人ばかりだからではない

⇒むしろ金持ちほどギャンブルをやっている。

# ⑦ 居住地域と都市規模

— 住んでるところ —

## 居住地域・都市の規模

(資料p48～49)

居住地域について。。。。

近畿、関東、九州人が幸せな人たち  
それ以外は優位に不幸・・・

都市の規模について。。。。

都市部ほど幸せ  
地方ほど不幸・・・

※但し、Hellevik[2003]によれば都市部と田舎で  
幸福度は変わらず、地域にも依存しないと報告。

## ⑧変数と幸福度の関係 (重回帰分析ver.) (資料p49~56)

ここから何をするか？

- ・これまでの節で得た結果を考慮しつつ、  
これまでの変数を用いて幸福度を説明する回帰分析をする。

<p51、52の表：回帰分析の結果>

※ 左の列＝世帯全員の所得

中央の列＝世帯一人当たりの所得

右の列＝総資産の変数を除外

- ・ここでの被説明変数は幸福度(10が幸福、0が不幸)
- ・説明変数は資料の通り。  
性別・家庭・年齢・学歴・職業・経済・住所 etc...

## ⑧変数と幸福度の関係 (重回帰分析ver.) (資料p49～56)

表の説明の続き...

順序プロビットで推定している

なぜOLS推定じゃない？

⇒今回は幸福度に量的尺度があると仮定して分析してるため  
表から読み取れること

- ・男性ダミーが負、しかし有意でない

  - ・・・どれかの説明変数のせいで

    - 男性の方が平均的に不幸に見える

      - ⇒10節「なんで♂が一見不幸なのか」で詳しく

- ・60歳代以外のすべての年代が有意に幸せ

    - しかも若いほど幸せ

      - ⇒人は年を食うこと自体が不幸だと感じている

## ⑨ 相対所得仮説について

(資料p56～60)

「人の幸福は、他人と比べてどれだけ自分がお金持っているかによるという説」

第9節ではこれの妥当性を検証

分析でわかったこと

- ・現在の生活水準が同じ⇒育った家庭が上流家庭なほど幸せ
- ・人の幸福度は
  - 「絶対的な変数(ここでは所得)」より
  - 「相対的な変数(ここでは生活水準)」によって決まる

## ⑩なんで一見♂の方が不幸なの？

(資料p60～61)

・男性は有意に女性より不幸(第3節の検証より)

・・・しかし、

p51の表2-2を見てわかるとおり、

所得や住居、世帯数など様々な属性を調整した

検証では男性は最早有意に不幸ではない。

⇒なぜ一見して男が不幸に見えるのか

どの変数によって男が不幸者にされているのかを探る

⑪ 選好パラメータ  
— 危険回避度・時間割引率 —  
(資料p62～69)

- ・今後の講義で順次勉強の後、再考予定

## ⑫まとめ

(資料p69～71)

☆今回の分析で分かったことは？

●古びた村に住む年寄りで中卒、販売職勤務で年のせいか健康に優れず、結婚はしなかった。

所得も資産も少なく来年増える見込みもないので、借家住まいである。

貧しいせいではないがドケチで他人の生活がきになり、「質素に生活したい」と自分に言い聞かせ、「お金を貯めることが人生の目標だ」がモットー。

無宗教でヘビースモーカー、そしてかなりせっかちで心配性な人

おわり